



# 大手門復元への手がかり

## ⑧史跡仙台城跡（仙台市青葉区川内）

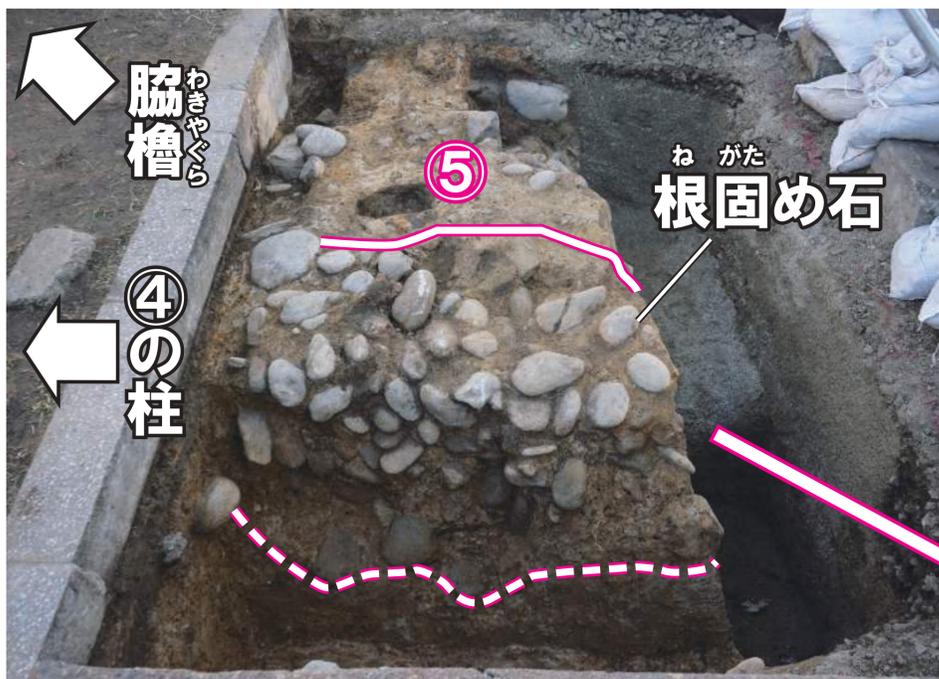


仙台市中心部にある青葉山とそのすそ野に位置しています。

令和5年度から、仙台空襲で焼失した大手門の将来的な復元に向けた発掘調査が、仙台市教育委員会により行われています。

調査の結果、焼失前の大手門の礎石の据付穴と脇櫓に伴う雨落ち溝が発見されました。

これらの成果から、80年前まで残っていた大手門と脇櫓の正確な位置を知るための貴重な手がかりが得られました。

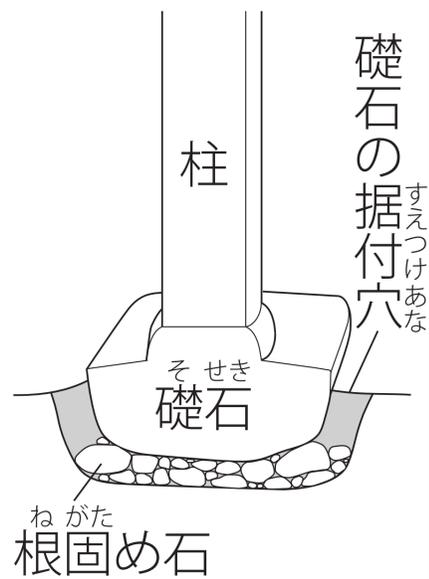


▲礎石の据付穴（北から）



▲焼失前の大手門南側

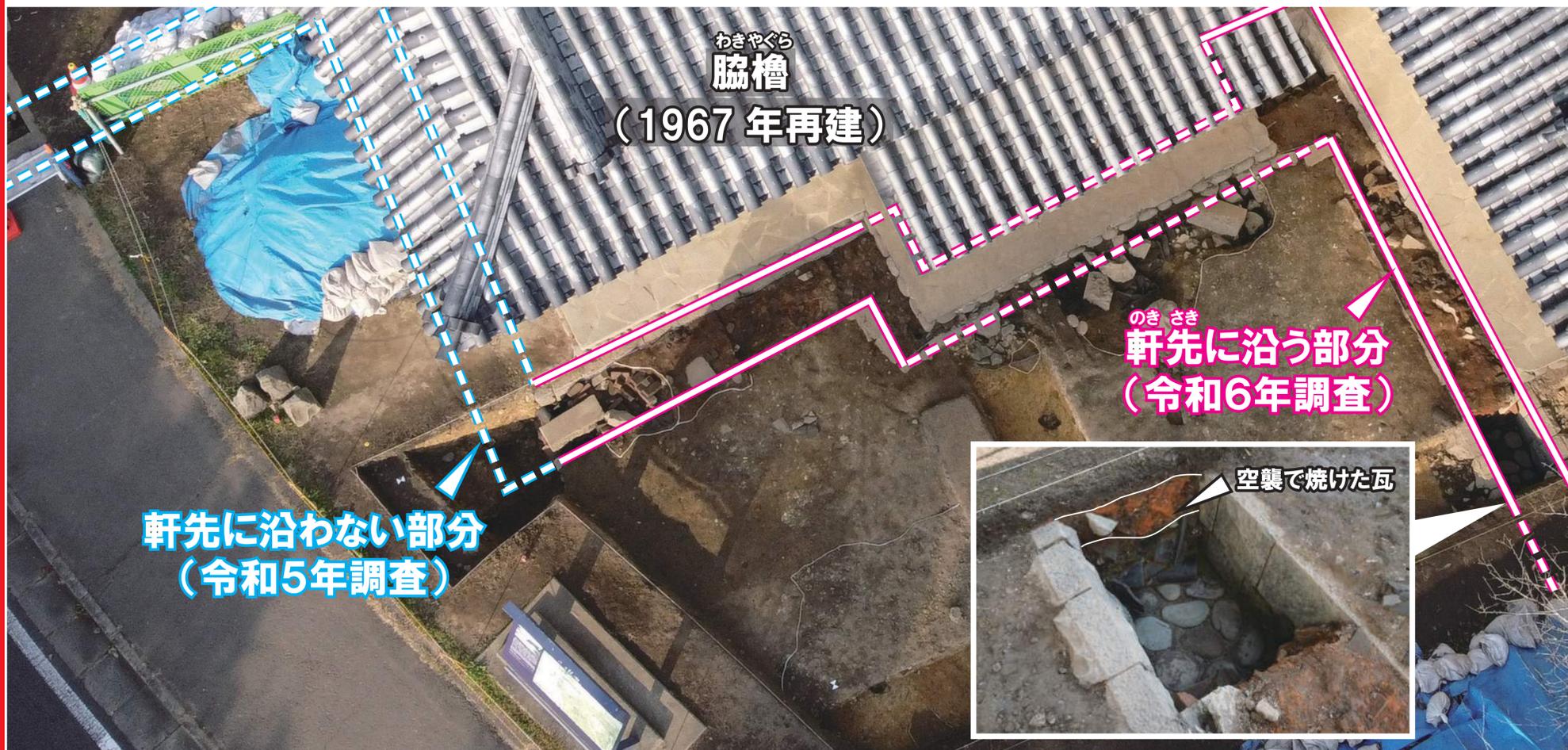
（仙台市教育委員会 1967年『仙台城』）



▲柱の模式図

（文化庁文化財部記念物課 2013年『発掘調査のてびき—各種遺跡調査編—』を参考に作成）

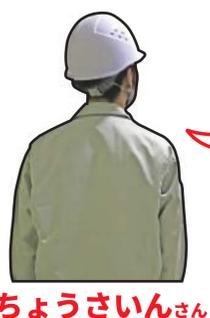
今回みつかった礎石（柱を支える石）の据付穴は大手門の南西隅の位置にあたります。据付穴は長さ約1m、幅約60cm、深さ約70cmほどが残っており、根固め石（礎石を安定させるための石）がしき詰められています。



▲雨落ち溝

屋根からの雨水をうける雨落ち溝が発見されました。雨落ち溝は再建された脇櫓の軒先に沿わない場所もあるため、焼失前の脇櫓は、現在の再建された脇櫓とは細かな位置が異なっていたと考えられます。

## Rengemon Chat



ちょうさいんさん

見つかった礎石の据付穴が、どうして南西隅柱の位置にあるとわかったの？

令和5年度の調査で見つかった3つの礎石の据付穴が、古写真との照合で②～④の柱の位置にあるとわかりました。今回発見した礎石の据付穴は④の隣から見つかったので、南西隅の柱の位置にあるとわかりました。



れんげもんちゃん

協力：仙台市教育委員会